

さいたま市介護支援専門員協会広報誌

# PARTNER SHIP

VOL 6 2005・夏号



## Aブロック研修

日時：H17年 9月 17日（土）13：00～  
会場：未定  
内容：相談スキルの演習  
講師：長田久雄氏

## Bブロック研修

日時：H17年 8月 6日（土）13:00～  
会場：与野本町コミュニティーセンター  
内容：記録について（基礎編）  
ケアマネジャーの専門性は記録から  
講師：黒澤貞夫氏

## Cブロック研修

日時：H17年 9月開催予定  
会場：未定  
内容：未定  
講師：未定

## 行政交流説明会

昨年度に引き続き今年も行政交流説明会を各ブロックにて開催いたします。

**8・9・10月開催予定**

日時・場所は決まり次第お知らせします。



# 研修案内

平成17年度さいたま市介護支援専門員協会研修日程

# 平成17年度通常総会開催される

6月18日(土)パレスホテル大宮において、平成17年度通常総会が開催されました。

会員の出席者は今年は82人を数え、来賓にさいたま市保健福祉局福祉部長 岡安 一男様をはじめ各区の高齢介護課課長をお迎えし、盛大に行われました。

岡安部長からはさいたま市も政令指定都市として3年目を迎え、今年度から岩槻区が加わり、10区の行政区になりよりきめ細やかな対応が図れる機能の充実が推進されている。

高齢者数18万人、高齢者率15.3%と着実に高齢化が進んでおり、新予防給付・施設給付の見直し等の国が進めている制度改革をふまえ、本市でもより地域にふさわしい第3次介護保険計画策定事業計画の策定の推進が望まれる等の貴重なお話をいただきました。

議案は会員の皆様に順調に承認され、会長には、ハピネスケア(株)清水政和氏が留任、また他の役員もそれぞれ滞りなく承認いただきました。



## 会長挨拶 ハピネスケア株式会社 清水 政 和

平成17年6月18日の通常総会にておいて、3期目の留任にて選出され承認頂き、今年一年会長を努めさせていただきますハピネスケア株式会社の清水 政和でございます。なにごとでもあり会員の皆様のご支援を頂きながら、役員・委員の方々と共同で協会の役割を指し示していきたいと存じますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

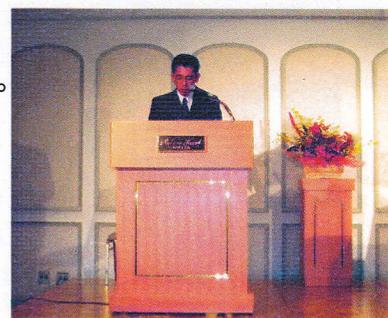
さて介護保険制度も18年度に向け、介護予防事業及び介護予防ケアマネジメント事業の検討を進めております。介護支援専門員に課せられる責務は一段と専門性が必要となり地域支援事業を支える大切な役割となります。このような時期に会長に就任することの責任の重さもまた感じているところです。

また、この時期にこそさいたま市介護支援専門員協会として情報収集や交換を行える場の提供を考え、介護支援専門員として福祉・介護・行政各専門団体より専門的知識を得られるように、更なるネットワークの構築ができる協会にしていきたいと考えております。

次に、今年度より「介護保険施設介護支援専門員の研修について」と致しまして、介護保険施設に従事されている介護支援専門員の方にも研修や情報交換ができるような機会や交流を行っていく基盤作りをしていきたいと思っております。

そのようなときに顧問として、さいたま市保健福祉福祉部高齢介護保険課主査「柳沢賢治氏」に就任をいただいたことも、あわせてご報告させていただきます。

その他にも課題はたくさんありますが、確実に前進し会員の皆様からの要望にも対応できるような協会として努力してまいります。今後も、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



## 平成17年度 役員名簿

平成17年 6月18日現在

役職名	氏名	事業所名	
会長	清水 政 和	ハピネスケア株式会社	
副会長	野 崎 直 良	特別養護老人ホーム尚和園	
副会長	黒 川 康 子	介護老人保健施設きんもくせい	
事務局長	野 崎 直 子	財)さいたま市在宅ケアサービス公社	
次 長	西間木 幹 子	財)さいたま市在宅ケアサービス公社	
研修委員長	山 下 和 彦	高齢者総合施設 敬寿園	
副委員長	松 橋 信 和	ハピネスケア株式会社	
広報委員長	金 子 誠	ひばり	
副委員長	松 本 幸 司	さいたまやすらぎの里	
監 事	高 柳 倫 子	訪問介護ステーションタッチ	
監 事	鈴 木 静 子	さいたまコープ・ふれあい介護センター	
A プ ロ ク	西区代表幹事	宮 本 好 彦	三恵苑在宅介護支援センター
	北区代表幹事	岩 男 久仁子	さわやか介護センター・つつしん
	大宮区代表幹事	櫻 井 浩 平	白菊苑在宅介護支援センター
B プ ロ ク	南区代表幹事	保 坂 由 枝	はくほう
	中央区代表幹事	深 見 哲	ナーシングヴィラ与野デイサービス
	桜区代表幹事	村 田 道 代	在宅介護支援センター大久保
C プ ロ ク	見沼区代表幹事	門 間 鈴 子	いきいきらいふ支援センター
	浦和区代表幹事	田 中 憲 子	在宅ケアセンターときわ
	緑区代表幹事	高 橋 貴 子	リバティーハウス



# 全体研修 「自立して生きること」

講師 吉永みち子氏

会場：パレスホテル大宮 チェリールーム

こんにちは、吉永でございます。大宮はすごく変わりました。30年振りに来ました。川口で生まれて蕨で育ちましたが、同窓会などがある時以外はほとんどこちらに来ることはありません。

私が小学校6年の時、忘れもしない大宮の日赤病院がありまして、母親が死ぬと言われました。母親と二人で生活していたので、この先どうしたらいいんだろうと思いました。病院の前には大きな道があるから危ないからといって面会に来てはだめだよと言われたのですが、1人で暮らしているのが寂しく、意を決して1人で電車に乗り、大宮駅を降りたって日赤病院まで歩いたのです。今日は、懐かしいところを探しながら歩いてまいりました。当時、渡り廊下みたいな階段を通過して富士山が真っ赤に見えたという記憶が鮮明に残っています。

さて、私は、馬への恩返しと思って障害者乗馬という団体のボランティアをやっています。NPO、今回認定を17番目にとれました。障害を持ったお子様を中心に乗ってもらっているのです。馬の効用は疑似歩行させてくれることです。脳性麻痺でほとんど車椅子で生活していると、筋肉を使っていないから、体が動かなくなってしまう。馬に乗るときには、インストラクター、ヘルパーがいてボランティアもいて、後ろからもう1人乗って、4人1組で支えてくれるのです。馬に乗っていると全く疑似歩行と同じように筋肉を動かすことになるます。

1年ほど乗っていると驚くことに介助が必要だった子が1人で馬に乗っています。背中の背筋をたてる、背骨をたてて馬に乗れる、とすることができるようになりますと他にできることがいっぱいあるのです。例えば、パソコンが打てるし、何かの形で仕事もできます。手を使って、自分の力でできるようになります。「訓練」ではなくて楽しみながら馬に乗るという事が結果的に良い影響を与えてくれます。それからいつも車椅子に固定されている視線が急に高くなることで色々なものを違う角度から見る事ができるのです。そうすると、ここでとても前向きな姿勢が芽生えます。「生きてやろう」「何とかしてやろう」とか。ある子は、馬に乗ることが楽しくてその結果、話ができるようになったのです。馬に乗っていたい一心で「進め」と……。馬に乗ったからその子は言葉が発したんです。

是非、馬に乗る時間を楽しみにしてもらいそして、生活の質の向上に役立たせてもらいたい。「ああここに習いに来てよかった。」「生まれてきてよかった。」と感じてもらえることを目的としています。

今は子供の乗馬ばかりやっているのですが、高齢の人に乘ってもらうことも私は良いと思います。きっとすごく効果が上がると思います。それには馬の頭数を増やしたりなかなか難しいとは思いますが。明るく楽しい人生を過ごして、充実した人生だった・・・と実感を持てる最後を迎えたいというのが私の望みでもあります。

ノンフィクション作家・日本ペンクラブ理事

吉永みち子 (よしなが みちこ)

埼玉県川口市生まれ。東京外国語大学インドネシア語学科卒業後、競馬専門誌「勝馬」で日本初の女性競馬新聞記者となる。夕刊紙「日刊ゲンダイ」を経て吉永正人騎手と結婚。5年の専業主婦の後、仕事に復帰。

1985年に「気がつけば騎手の女房」で第16回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

筆跡活動の傍らで、政府税制調査会、地方分権改革推進議会などの委員を歴任。

「テレビ朝日スーパーモーニング」のコメンテーターとしても活躍中。また障害を持った方に乗馬を楽しんでもらうボランティア団体 NPO 法人「RDA Japan」の副理事長も勤めている

## 主な著書

- ・母と娘の40年戦争
- ・気がつけば騎手の女房
- ・馬に魅せられた女たち
- ・シンザン物語 蹄跡よ永遠に
- ・旅路の果ての名馬たち
- ・ボクって邪魔なの
- ・麻婆豆腐の女房 赤坂四川飯店物語
- ・老婆は一日にしてならず
- ・性同一性障害 性転換の朝(あした)

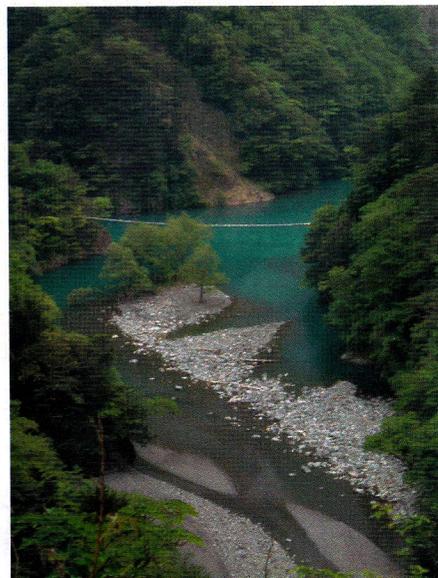
山の雲も川に流れウグイスが戸惑いなく春を唄う頃、人の侵入を、人の侵入を嫌がっていた峠道も氷を溶かして受け入れはじめていたある日のこと。春というよりは初夏を思わせる陽気にそそのかされ、バイクでお出かけすることにした。

そこは秩父を越えてしばらく行った峠の入り口にある小さなソバ屋。80歳位のぼっちゃんが1人で切り盛りしている。味も料金もさることながら、遠路はるばる訪問する気にさせてくれるぼっちゃん、行くたびに店の生い立ち、夫との馴れ初め、ソバを打つようになったきっかけを話してくれる。ちなみに注文しても話し中はタバコをふかすばかりで調理場には入らない……。

ようやく出てきたソバには山菜の天ぷらがついている。なんでも夫が山でとってきたものとか。(まてよ! さっき夫は死んだって言ってなかったっけ!?)

ちょっと太めのそばをすすりながら、気持ちよさげにタバコをふかすぼっちゃんのお話は続く。きっとこの店の存続はぼっちゃんの元気にかかっている!と思うと、なんだか安否確認せずにはいられなくて……。

ぼっちゃん忘れられないように近いうちにまたいきまーす。(実は今回ちょこちょこ来ないと忘れちゃうとおこられちゃいました。)



## ボランティア紹介

今年度は丹野啓子さんが表紙の写真を担当します。

現在ヘルパーとしても活躍しています。

趣味の写真歴は長く自然な表情をとれるように心がけています



丹野 啓子さん

## 事務局より

### 1. 平成17年度会費納入について

当協会の運営は会員様の会費で運営されております。未納の方は至急下記口座にお振込み下さい。

郵便局口座	口座番号	記号	10320	番号	76599611
	加入者名	さいたま市介護支援専門員協会			

※ 事業所名で振り込んだ場合、同事務所に複数の会員がいる場合特定できませんので会員名で振り込んで下さい。事業所名で振り込んだ場合は、振込日・事業所名・会員名を事務局まで御連絡ください

### 2. 会員の住所、事業所等登録事項に変更があった場合や入会・退会希望の場合、事務局までご連絡下さい。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎 西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470 FAX 048-645-7500

ただいまホームページは工事中です。しばらくお待ち下さい